

# India Weekly

2019年2月12日



(対象期間：2019/2/4～2019/2/8)

## 【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2019年2月8日)



## 【株式市場】

7日の金融政策決定会合を前にハト派的な政策決定が発表されるとの期待感から、6日までインド株式市場は堅調となりました。実際に利下げが決定され、政策スタンスが「調整された引き締め」から「中立」に変更されましたが、前日まで上昇していたことから、7日は小動きとなりました。8日は米中の貿易協議の進展期待が後退してアジア株式市場が軟調となる中、インド株式市場も連れ安となりました。

2019/2/1	2019/2/8	変化率
36,469.43	36,546.48	0.21%

## 【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年2月8日)



## 【債券市場】

週初は原油価格が約2ヵ月ぶりの高値となる中、インド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。その後、6日まで7日の金融政策決定会合でのハト派的な政策決定への期待感から利回りは低下しました。政策金利は据え置きとの予想が大勢であったことから7日の利下げは予想外となり、利回りは一段と低下しました。8日の国債入札では需要の弱さが見られ、利回りは上昇しました。

2019/2/1	2019/2/8	変化幅
7.375	7.335	-0.040

## 【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年2月8日)



## 【為替市場】

週初は原油高を受けてルピーは対米ドルで下落しましたが、週末にかけて堅調となり、週間でルピー高米ドル安となりました。また、円が対米ドルで下落したことから、対円でもルピーは上昇しました。

2019/2/1	2019/2/8	変化率
1.527	1.541	+0.90%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



英国ブルーデニムは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデニム・フィナンシャル社とは関係がありません。